

ゆめたび

2026.5.13 (水)

No.1

発行者：小山拓真

JICA 海外協力隊派遣前訓練 in 駒ヶ根

こんにちは！昨年度まで石和中学校で働いていた小山拓真（こやまたくま）です。私は今、JICA 海外協力隊の派遣前訓練のため長野県駒ヶ根市で暮らしています。みなさんは「JICA 海外協力隊」という言葉を聞いたことがありますか？これは、日本人が海外の国へ行き、その国の人たちと一緒に働きながら課題を解決する活動です。例えば、学校で先生として働く隊員や農業の技術を伝える隊員、病院で医療をサポートする隊員など、様々な分野の人たちが世界中で活動しています。ちなみに、私は8月からパプアニューギニアという国へ小学校教育隊員として派遣されます。

訓練所には、北海道から沖縄まで全国各地から集まった総勢134名の方が同期として在籍しています。私と同じ教員の方もいれば、野菜栽培や水泳が専門の方、助産師として途上国へ行く方もいます。年齢も性別も人生経験も多様な方々と、日々たくさんの事を学び合っています。

夢に向かって一步踏み出す勇気と、まだ見ぬ世界へ出会う旅という意味を込めました。遠く離れた場所での毎日が、だれかの「やってみたい」につながることを願っています。



訓練所での生活を紹介します！



一人一部屋の居室が与えられています。最低限のプライベートは守られた状態で生活することができます。ただし、この居室の使い方も訓練の一環です。**派遣国を意識した使い方が求められます。**部屋から出る時は窓とカーテンを閉め、鍵を欠かさずかけることを徹底しています。

1日3食、無料でご飯を提供していただけます。もちろん、おかわりは自由です！美味しく、いつもおかわりしてしまいます。各国の料理が出ることもあります。朝昼晩の3食を食べ、よほどの理由がない限り欠食はしません。健康管理も大切な仕事です。



訓練所には、図書館や体育館もあり、訓練生は自由に使うことができます。空き時間に訓練生同士でバレーやフットサルをしてリフレッシュしています。運動習慣を作ることも訓練の一環です。現役時代に全国大会出場などの大きな結果を収めた方々がたくさんいます。

訓練生活の大半は、語学授業です。私の活動言語は英語であり、**授業中は一切日本語を使ってはいけません**。そのため、1日の大半を、英語を使って生活しています。英語以外にもスペイン語やフランス語、ウズベク語を学習している方もいます。語学授業以外にも、派遣国での体力維持やチームビルディングの手法などを日々学んでいます。



毎朝行う朝礼では、生活班ごとの人員確認やラジオ体操、諸連絡等を行います。また、派遣国の国旗を日替わりで掲揚します。**他国の国旗を尊重することは、国際社会のマナーです**。そのため、国旗掲揚に相応しくない態度は慎まなければなりません。朝礼を通して「**国際社会の一員としての自覚**」を養うことができています。



毎週火曜日はワクチン接種の日となっており、痛い思いをしています。私は注射が大嫌いです。派遣国には、日本では見られない感染症がたくさんあります。健康に2年間生活するためにも、ワクチン接種は大切な仕事です。出国までに10本以上のワクチンを打つ予定です。人生でこんなに注射を打つとは…。



平日の大まかな1日のスケジュール *小山仕様

6時起床→シャワー・朝散歩
7時20分～朝食
8時10分～朝礼（人員確認やラジオ体操、諸連絡等）*3日目からスタート
8時45分～各種講座・授業
11時40分～12時50分 昼食・仮眠・週一で班長会議
13時～17時 各種講座
17時～18時 フリータイム（運動多め）
18時～夕食
19時～21時50分 フリータイム（自習等）
22時～就寝前点呼
23時～消灯

訓練所の生活は、とにかく規則正しく進んでいきます。134名の集団生活であるため、周りへの配慮と時間への高い意識が求められます。訓練生活の基本は、「**自律**」です。**派遣国での生活を意識して、自分で自分を律する力を高めています**。（みなさんと一緒ですね。）とにかく1日1日の密度が濃いので、毎日夜にはクタクタになります。でも、とっても楽しいです！！

派遣前訓練で、何度も繰り返し言われている言葉があります。それは、「**現地の方との信頼関係を何よりも大切にすること**」です。海外での活動は、自分一人の力で何かを成し遂げるものではありません。現地の方と共に悩み、共に考え、共に歩いていく中でこそ、本当の意味での支援やつながりが生まれていくのだと学びました。そしてその積み重ねが、日本と派遣国との絆をつくっていくのだと感じています。だからこそ大切にしたいのは、「自分にできることは何か」を問い続け、目の前のことに全力で向き合う姿勢です。特別なことではなくてもいい。**一つ一つの行動に心を込め、誠実にやり続けること**。その積み重ねが、必ず信頼へとつながっていくと信じています。訓練で出会った仲間の存在も、私に大きな力を与えてくれています。それぞれが異なる分野で経験を積んできたプロフェッショナルであり、その言葉や姿勢から日々多くのことを学んでいます。見てきた世界は違っても、「誰かのために行動したい」という志は同じです。だからこそ互いに刺激を受け、切磋琢磨しながら高め合える関係があります。もちろん、不安がないわけではありません。それでも、初めてのことに一歩踏み出すからこそ見える景色があると信じています。ひたむきに、まっすぐに努力し続ければ、道は必ず開ける。そう信じて、私はこれからも自分の夢への挑戦を続けます。みなさんも、自分の場所で、自分にできる一歩を大切にしていってください。